

自由意見・要望・提案

62通 頂きましたその内容内訳は

- ① 地域のつながり、助け合い、親睦、体制、あいさつ 14通
- ・つながり合って生活することが大切
  - ・ひとりぼっちはださない お互いに見守る
  - ・つながる努力をする
  - ・近所の皆さんと仲良く、お互いに助け合って
  - ・出会ったら顔つなぎの声掛けの輪を広げる
- ② 行政及び関係機関に要望 18通
- ・多摩湖駅にエレベーターの設置 3通
  - ・多摩湖駅 湧き水対策 1通
  - ・西武園駅から2番目の踏切改善 1通
  - ・カーブミラー設置2 防犯カメラの設置と状況3 5通
  - ・横断歩道設置と歩行者用信号機設置 2通
  - ・拡声器の放送音が聞こえづらい 1通
  - ・交差点1、歩行者の安全確保について2 3通
  - ・住民の声を市に伝えて 2通
- ③ 自治会に対して あり方 会費 周知 対策 脱会 22通
- ・自治会の意義1 必要性1 在り方1 3通  
(存在意識が分からない、必要性を疑います  
在り方が今のままではいけない)
  - ・会費の値下げ(他比較、加入増のため 経費の見直し 5通  
コロナ禍等により各家庭の経済格差が益々拡大する中)
  - ・提案(町おこしの発想 月一回の巡回 週一ウォーキング5通  
会員優待カード 会員交流サイトの設置  
子ども食堂 マルシェ(市場)を桜並木に)
  - ・対策(会員の拡大 会員数の減少 自治会費の有効活用 4通  
会員を優先的に守れる仕組み  
班長の負担を減らす方法)
  - ・疑問 工夫 広報 広報 話し合い 5通  
(同じ地域に会員と非会員がいる疑問  
若い世代が参加しやすく パンフレットでアピール  
花火対策 西武園と話し合い 補助金100%にして)
- ④ 地域活動に感謝(民生員の声掛けに 活動の大変さに 6通  
自治会役員に 地域の方に恵まれて  
地域の見守り)

⑤ 地域防災について 3通

備蓄品の公開 どこにどれだけ 災害時の対応の周知  
災害時の組織の連携をどう伝えていくのか考えて

⑥ 地域の活性化及び環境整備 3通

寂れていく一方なので活性化を  
北川の土砂を浚渫してせせらぎして  
北川に沿った観光コース

総括

アンケート調査に関わりました会員、班長、総務の皆様には感謝するとともに、貴重で重要な意見、要望、提案などを書いていただき厚く御礼を申し上げます。

地域の高齢化、また約2年間にも続くコロナ禍で社会が大きく変っている現在、自治会もこの変わりゆく変化に対応しなければとの思いでこのアンケートを実施しました。

地域では、隣同士の横のつながり、親睦、助け合いながら生活することの大切さを望む意見が多くありました。その中で「ひとりぼっち」は出さないと書かれた文章には、心が痛み厚い感情が走りました。この「つながり」、「ひとりぼっちを出さない」をキーワードとして地域でのふれあいの輪を広げる為の活動を推し進めます。

自治会に対して、「高齢化が進み集金が大変で班長になり手がなく退会する人が多くなり、会員が年々減り続けている」「会費の値下げを」「地域に会員と非会員がいるのが疑問・不満」「今のままでいいのか」との意見が多くあり、今の自治会の姿(あり方)に不安を感じて、工夫と対策の必要である。この対策としての下記の提案を受けました。

- ① 自治会費の有効活用：会員優待カード、会員交流サイトの設置、週一のウォーキング
- ② 自治会のアピール：若い世代も参加しやすい工夫  
活動のPR、自治会の役割を分かりやすいパンフレットに
- ③ 班長さんの負担軽減：地域の合併、役の見直し

上記の自治会に対して、可能な限り会員の思い、ニーズを反映出来るように、話し合い、検討し 皆さんからより愛されより頼りになる自治会へと変わるように、運営、活動の見直しを皆さんと共に行いたい。

また、会費を下げてとの要望を多くの人からさまざまな視線で書かれています。一例として コロナ禍等で各家庭の経済格差拡大しシングルマザーや非正規世帯等の実態を理解していないとの意見があり、心にささるおもいです、他の意見ともに重く受け止めさせてください。この場では結論が出せませんが、まず、支出の確認からスタートします。

多摩湖駅のバリアフリー（エレベーターの設置 線路を渡ってホームへ）  
高齢者の方が安全に生活を送る上でバリアフリーが重要な役割を果たしています。そのこ

とは皆さん理解しているのですが、多摩湖駅のエレベーターの設置は乗降客数が少ないとか、西武鉄道が腰を上げないとか、構造が複雑で施工費が高くなるなどで、事業を認めてもらえない現況です。また西武園ゆうえんちリニューアルオープンで駅を改築する計画があり、その時にともいわれていましたが、今年実施しているのがバリアフリー事業で内方線付点字ブロック設置工事を市の補助を受け行っています。地元自治会としては、行政(国、都、市)からの情報を確認しながら実現に向けて必要性のアピールを継続して行きます。

その他の要望としましては、拡声器の音が聞きづらい改善を、防犯カメラ設置、設置状況、カーブミラー設置、横断歩道の設置及び歩行者用押しボタン式信号新設、交差点が騒音、踏切改善、交通安全対策、移動販売の実施及び地域の緑地管理や開発などの情報を住民の意見として市に情報提供すべき。

以上の要望、意見を整理します、整理後、市役所の自治会窓口(市民協働課)に事前相談、調整を行い、意見、要望書として市、関係事業者に提出します。

その他に「子ども食堂の開設」と「マルシェ(市場)をさくら並木で」及び「北川を整備して北川沿いに観光コース」が提案されました。

「子ども食堂」については、地域で自主的、自発的に取り組む活動であると理解しております。また、このコロナ禍で仕事に付けず、収入が少なくなるなど家庭環境が悪化する一方です。すぐにでも立ち上げたいのですが、スタッフ(ボランティア)と運営費の確保の問題などすぐ出来ない難しさもあります。地域の皆さんの機運を高め、地域一体となり立ち上げが出来ればと思っています。

「北川沿いを観光コースに」地域の活性化としての観光地づくりは大切であり、北川を整備して、正福寺(国宝)→菖蒲園(観賞)→北川沿い(せせらぎ)→狭山公園(緑癒し)の素晴らしいコースになると想像が出来ます。北川管理者(市)に浚渫を含みせせらぎ整備を時間と費用がかかるとは思います。要望していきたいと思います。

「マルシェ(市場)をさくら並木で」

市の緑と公園課に問い合わせしました。公園課としては、多様化する住民のニーズに効果、効率に対応するために、令和4年7月から管理委託制度から指定管理者制度に移行する予定です。民間の力をかりて協働で、社会の変化に対して対応したいとのことでした。いま、高齢化が進み買い物難民問題がこの地域でも発生します。現在自治会では、この公園を使用して、移動販売(高齢福祉社会事業)の令和4年導入を進めています。まず、移動販売の導入を行い、引き続きマルシェの事業企画を行えばと考えています。

この件は地域のコミュニティー形成と普及効果、買い物の利便性、食生活サポートなどを考えると地域にとってとても大切なことと考えます。